

直実・蓮生の浮世絵展Ⅱ



19. 義経と直実、さがみ



27. 熊谷蓮生法師



37. 源平魁躑躅

“郷土熊谷”を代表する歴史上の偉人に、平安時代から鎌倉時代にかけて活躍した人物、熊谷次郎直実・法力房蓮生法師がいます。

その前半生は、武士・直実として幾多の合戦に参加し、特に源平合戦の一ノ谷の戦における平敦盛を討つ場面は『平家物語』の名場面の一つとして数えられています。後半生は僧侶・蓮生法師として、浄土宗の開祖・法然上人に帰依し、上品上生の大往生を遂げるまでの間の数々の逸話が今に残っています。

こうした活躍が、人形浄瑠璃・歌舞伎の演目「熊谷陣屋」に取り上げられ、市川団十郎をはじめとした名優によって演じられ浮世絵の題材となりました。

さて、直実・蓮生法師が描かれた浮世絵には大きく武者絵と芝居絵とがあります。武者絵の場合は、源平合戦における数々の戦場での活躍ぶりをそのままに描き、芝居絵の場合は、幾多の名優が演じた直実・蓮生法師の名場面が描かれています。こうした浮世絵は、現代のプロマイド的な感覚で一般庶民に広まりました。

今回のミニ企画展は「直実・蓮生の浮世絵展Ⅱ」を開催いたします。当館では直実・蓮生法師を描いた浮世絵を収集し、現在100点ほどの作品を収蔵しています。これらの中から今回展では芝居絵を中心に展示します。

芝居絵は、歌舞伎「熊谷陣屋」や「須磨都源平躑躅」に取材した作品が主で、当代きつての歌舞伎役者が熊谷直実を演じ、特に「熊谷陣屋」は現在でも名優が演じる人気の演目で、その迫力と胸を打つ感動を今の人々にも与えています。

これらの浮世絵から、江戸時代において直実の武勇がいかに広まり、人気があったのか、そして数多くの浮世絵師が描き、そして、江戸時代の庶民に愛された熊谷次郎直実を通じて、郷土熊谷の歴史・文化にも関心をお持ちいただければ幸いです。

会期:令和元年9月3日(火)~12月1日(日)

休館日:毎週月曜日(祝日を除く)、9/6、9/17、9/24、10/4、10/15、10/23、11/1、11/5

会場:熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室 時間:9:00~17:00

主催:熊谷市立熊谷図書館 住所:熊谷市桜木町2-33-2 電話:048-525-9463



79. 熊谷陣屋



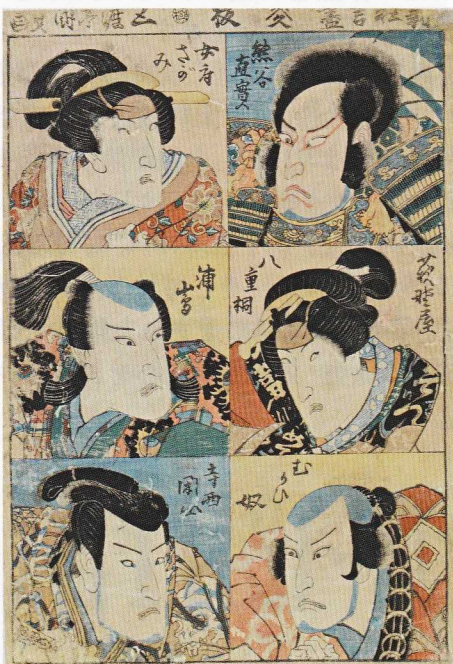
77. 蓮生法師 玉織姫



17. 一谷嫩軍記の
熊谷陣屋の場



21. 熊谷蓮生法師



18. 狂言尽



44. 扇屋熊谷



56. 中山道熊谷宿熊谷寺子育奴稻荷社之図

※No.は、熊谷図書館の受入番号(図録『浮世絵・熊谷次郎直実』の作品番号)